



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月11日

上場会社名 株式会社関通 上場取引所 東  
コード番号 9326 URL <https://www.kantsu.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 達城 久裕  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 達城 利卓 TEL 06-6224-3361  
四半期報告書提出予定日 2023年10月11日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年2月期第2四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	5,619	10.0	164	△14.1	162	△7.4	115	2.3
2023年2月期第2四半期	5,107	—	191	—	175	—	113	—

（注）包括利益 2024年2月期第2四半期 115百万円（－％） 2023年2月期第2四半期 113百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	11.45	11.09
2023年2月期第2四半期	11.01	10.62

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	9,125	3,090	33.9
2023年2月期	9,471	3,259	34.4

（参考）自己資本 2024年2月期第2四半期 3,088百万円 2023年2月期 3,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,756	12.0	669	70.8	624	73.1	387	△38.3	37.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	10,308,150株	2023年2月期	10,308,150株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	300,093株	2023年2月期	93株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	10,093,771株	2023年2月期2Q	10,266,593株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2023年10月11日付で当社ホームページ（<https://www.kantsu.com/ir/>）に掲載の予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年8月31日まで）におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症（2類相当）」から「5類」へと変更されたことも影響し、経済活動が再度活発化しつつあります。また、雇用・所得環境が改善する中、景気は緩やかな回復基調となった一方で、物価上昇、世界的なインフレ拡大により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは一層の企業価値の向上を図るため、2023年4月14日付「中期経営計画のローリングに関するお知らせ」で公表しましたとおり、物流サービス事業、ITオートメーション事業それぞれの事業で、「お客様がやりたいことを実現できるサービスを提供する」ことを第一にサービスレベルの向上に取組み、また協力先及び仕入先とのパートナーシップを強化し、当社グループが事業拡大につなげるとともに、当社グループの中長期的な企業成長に寄与いただける企業のM&Aを実行し、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が5,619,617千円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は164,276千円（前年同四半期比14.1%減）、経常利益は162,571千円（前年同四半期比7.4%減）親会社株主に帰属する四半期純利益は115,604千円（前年同四半期比2.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業利益をベースとしております。

#### （物流サービス事業）

物流サービス事業におきましては、EC・通販物流支援サービスを中心に、引続き品質及び生産性向上のための改善活動に取組み、お客様満足度の一層の向上を推進しました。また、既存のお客様の作業・運賃等の交渉による値上げ、利益率の高い冷凍冷蔵倉庫利用のお客様の増加の影響等で利益の向上に努めた一方で、前年同期の大口のスポット顧客が当連結会計年度はなく、結果として営業利益は低下しました。

加えて2022年2月に新設しました本社ショールーム（兵庫県尼崎市）へのご案内等によって、当社の具体的な取組へのご理解を深めていただく機会を提供すること等により、成約率の向上に継続して努めました。

この結果、物流サービス事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は5,299,019千円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント利益は50,918千円（前年同四半期比57.0%減）となりました。

#### （ITオートメーション事業）

ITオートメーション事業におきましては、倉庫管理システム「クラウドトーマス」及び「クラウドトーマスPro」について、新規のお客様獲得は堅調に推移しました。

この結果、ITオートメーション事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は268,806千円（前年同四半期比20.0%増）、セグメント利益は113,119千円（前年同四半期比66.4%増）となりました。

#### （その他の事業）

その他の事業におきましては、障がい者のお子様向けの放課後等デイサービス及び障がい者の方向けの就労移行支援サービスが堅調に推移しました。

この結果、その他の事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は51,791千円（前年同四半期比6.2%減）、セグメント利益は238千円（前年同四半期比95.0%減）となりました。

[2023年2月期第2四半期 セグメント別経営成績]

(単位：千円，%)

セグメント区分	売上高			セグメント損益（営業損益）		
	実績	百分比	前年同期増減率	実績	売上高営業利益率	前年同期増減率
サービス区分						
EC・通販物流支援サービス	5,178,988	92.2	9.6	—		
受注管理業務代行サービス	84,260	1.5	41.9	—		
その他	35,770	0.6	△19.2	—		
物流サービス事業	5,299,019	94.3	9.8	50,918	1.0	△57.0
ITオートメーション事業	268,806	4.8	20.0	113,119	42.1	66.4
その他の事業	51,791	0.9	△6.2	238	0.5	△95.0
セグメント合計	5,619,617	100.0	10.0	164,276	2.9	△14.1

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は9,125,393千円（前連結会計年度末比346,120千円の減少）、負債は6,035,238千円（前連結会計年度末比176,460千円の減少）、純資産は3,090,154千円（前連結会計年度末比169,659千円の減少）となりました。

主な増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,125,027千円（前連結会計年度末比1,029,236千円の減少）となりました。主な要因は、売掛金が101,792千円増加した一方で、現金及び預金が、有価証券及び投資有価証券、有形固定資産及び自己株式の取得、並びに法人税等の支払等により、1,274,934千円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は5,000,365千円（前連結会計年度末比683,116千円の増加）となりました。主な要因は、投資有価証券が352,144千円増加したほか、物流センターの新設にともなう敷金の支出により敷金及び保証金が120,088千円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,809,038千円（前連結会計年度末比351,372千円の減少）となりました。主な要因は、法人税等の支払により未払法人税等が251,457千円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は4,226,200千円（前連結会計年度末比174,911千円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金が171,083千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部の残高は3,090,154千円（前連結会計年度末比169,659千円の減少）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益が115,604千円を計上した一方で、配当金の支払額が103,080千円あったことにより利益剰余金合計が12,524千円増加し、また自己株式182,184千円を取得したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,282,222千円減少し、1,931,999千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は174,389千円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を162,571千円計上し、減価償却費が169,168千円あった一方で、売上債権の増加額110,273千円、未払消費税等の減少額86,293千円、法人税等の支払額288,623千円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は974,169千円となりました。主な要因は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出552,144千円、有形固定資産の取得による支出248,880千円、無形固定資産の取得による支出69,888千円、敷金及び保証金の差入による支出120,403千円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は133,663千円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出635,404千円、配当金の支払額が102,500千円、自己株式の取得による支出が182,184千円あった一方で、長期借入れによる収入800,000千円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期連結業績予想につきましては、2023年4月14日公表の「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で開示いたしました連結業績予想から、変更はありません。

なお、当該資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,432,524	2,157,589
電子記録債権	277,472	285,954
売掛金	972,380	1,074,173
有価証券	—	100,000
商品	302	—
仕掛品	4,189	5,578
その他	473,321	507,697
貸倒引当金	△5,927	△5,966
流動資産合計	5,154,264	4,125,027
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,426,273	1,470,498
機械装置及び運搬具(純額)	162,131	176,062
土地	138,871	138,871
リース資産(純額)	240,332	231,745
建設仮勘定	114,429	114,429
その他(純額)	291,158	382,830
有形固定資産合計	2,373,198	2,514,437
無形固定資産		
ソフトウェア	259,651	288,565
その他	349	6,867
無形固定資産合計	260,001	295,432
投資その他の資産		
投資有価証券	—	352,144
長期貸付金	12,000	24,000
繰延税金資産	146,732	146,732
敷金及び保証金	1,089,583	1,209,671
その他	436,509	458,723
貸倒引当金	△776	△776
投資その他の資産合計	1,684,049	2,190,495
固定資産合計	4,317,249	5,000,365
資産合計	9,471,514	9,125,393

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	264,734	287,760
1年内返済予定の長期借入金	795,352	788,865
未払法人税等	318,381	66,924
賞与引当金	34,458	34,042
リース債務	26,922	27,815
事業構造改善引当金	321,967	263,692
その他	398,593	339,938
流動負債合計	2,160,410	1,809,038
固定負債		
長期借入金	3,228,071	3,399,154
資産除去債務	371,904	386,590
リース債務	221,035	210,642
事業構造改善引当金	9,000	9,000
その他	221,277	220,813
固定負債合計	4,051,288	4,226,200
負債合計	6,211,699	6,035,238
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	788,275	788,275
資本剰余金	774,275	774,275
利益剰余金	1,695,773	1,708,298
自己株式	△109	△182,293
株主資本合計	3,258,214	3,088,554
新株予約権	1,600	1,600
純資産合計	3,259,814	3,090,154
負債純資産合計	9,471,514	9,125,393



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	5,107,376	5,619,617
売上原価	4,422,075	4,909,087
売上総利益	685,301	710,530
販売費及び一般管理費	494,111	546,254
営業利益	191,190	164,276
営業外収益		
受取利息	180	11,067
受取地代家賃	1,507	617
助成金収入	5,098	3,340
物品売却益	2,777	3,498
その他	1,472	1,221
営業外収益合計	11,037	19,745
営業外費用		
支払利息	24,726	19,068
その他	1,956	2,380
営業外費用合計	26,682	21,449
経常利益	175,544	162,571
特別利益		
固定資産売却益	697	—
特別利益合計	697	—
特別損失		
固定資産除却損	257	—
倉庫移転費用	12,571	—
特別損失合計	12,828	—
税金等調整前四半期純利益	163,413	162,571
法人税等	50,379	46,966
四半期純利益	113,034	115,604
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,034	115,604

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年3月1日 至 2022年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）
四半期純利益	113,034	115,604
四半期包括利益	113,034	115,604
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,034	115,604
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	163,413	162,571
減価償却費	197,176	169,168
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	332	38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,475	△416
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	—	△58,275
受取利息及び受取配当金	△185	△11,072
支払利息	24,726	19,068
売上債権の増減額 (△は増加)	△76,354	△110,273
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,043	△1,086
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,692	23,025
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△97,991	△86,293
その他	△20,377	16,400
小計	157,530	122,855
利息及び配当金の受取額	185	11,072
利息の支払額	△25,029	△19,694
法人税等の支払額	△155,820	△288,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,134	△174,389
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,902	△6,901
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△552,144
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△668,812	△248,880
有形固定資産の売却による収入	4,090	—
無形固定資産の取得による支出	△76,540	△69,888
敷金及び保証金の差入による支出	△129,110	△120,403
貸付けによる支出	—	△50,000
その他	△25,972	△25,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△903,247	△974,169
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	950,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△455,361	△635,404
リース債務の返済による支出	△11,901	△13,574
配当金の支払額	△101,948	△102,500
自己株式の取得による支出	—	△182,184
その他	4,600	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	385,389	△133,663
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△540,992	△1,282,222
現金及び現金同等物の期首残高	3,012,955	3,214,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,471,962	1,931,999

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が182,184千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が182,293千円となっております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	物流サービス 事業	ITオート メーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,828,138	224,023	5,052,162	55,214	5,107,376	—	5,107,376
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,828,138	224,023	5,052,162	55,214	5,107,376	—	5,107,376
セグメント利益	118,446	67,975	186,422	4,768	191,190	—	191,190

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス及びその他教育サービスを含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	物流サービス 事業	ITオート メーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,299,019	268,806	5,567,826	51,791	5,619,617	—	5,619,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,299,019	268,806	5,567,826	51,791	5,619,617	—	5,619,617
セグメント利益	50,918	113,119	164,037	238	164,276	—	164,276

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス及びその他教育サービスを含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。